



卯年

2023

あけましておめでとうございます



ぞう組



くま組



りす組



きりん組



うさぎ組



ひよこ組

新しい年の門出をご家族お揃いで迎えられたことと思います。保育所では「あけましておめでとうございます。」と子どもたちの元気な挨拶から1月の保育が始まりました。嬉しそうに休み中の話をする子どもたちの様子から、楽しいお正月を過ごされたことが伝わってきました。

今月は、いろいろな正月遊びを友だちや保育士と一緒に楽しみ、関わりを深めていきたいと考えています。また、雪や霜、氷など、冬の自然の美しさや不思議さを感じ、触れて遊ぶ楽しさが味わえるようにと思っています。

これから風邪やインフルエンザ、感染性胃腸炎などの感染症が流行する時期です。引き続き手洗いやうがいをして予防に努めると共に、生活リズムを整えて元気な体作りをしていきたいと思しますので、ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

○保育目標～正月遊びを楽しもう

こま回し、凧揚げ、羽根つき、カルタ、福笑い、すごろく、けん玉など、この時期ならではの遊びを繰り返し遊び、自分でやり方を考えたり試したりして十分に楽しめるようにします。小さい子には、扱いやすく楽しさが感じられる手作りのものを準備するなど、年齢に合わせて工夫し、友達や保育士と一緒に楽しさを共感し合いたいと思います。

○生活目標～生活リズムを整えよう

お正月休みは生活リズムが崩れがちではなかったでしょうか。今月は生活リズムを整え元気に過ごせるようにしたいと考えています。元気に過ごせるよう“早寝・早起き・朝ご飯・朝ウチ”のリズムを整えていきましょう。また、1月16日(月)～20日(金)は『チャレンジシート』を実施する予定です。

お知らせ・お願い

○新年お茶会について(10日)

ぞう組がお抹茶をいただきます。作法を教えてくださいながら、心穏やかな時を過ごしたいと思います。

○<ふれあいデー>とんどさんについて(13日)

ふれあい会員の皆様と一緒に伝統行事を楽しみます。家庭で飾られたしめ縄等のお正月飾りをお持ち出してください。

○面談について(5歳児16日～27日 4歳児23日～30日)

保育所での様子についてお話したり、ご家庭でのお子さんの暮らし等について伺ったりします。修了、進級までの毎日がより充実するようになっています。ご協力をお願いします。

○すもう大会について(16日～20日)

ぞう組・きりん組・くま組がすもう大会をします。取り組みの後、最終日(20日)に表彰します。

○土曜共同保育について(28日)

28日の土曜共同保育は、当所にて行います。よろしくお願いいたします。

*ご寄贈ありがとうございました



- ・白菜、大根、かぶ、ごぼう、里芋、ほうれん草 ~地域の方
- ・画用紙、折り紙、コピー用紙 ~保護者様

1月の行事予定

- 1日(日) 元旦(祝日)
- 2日(月) ~4日(水) 年始休所
- 5日(木) 保育開始
- 9日(月) 成人の日(祝日)
- 10日(火) 身体測定週
" 新年お茶会(5歳児)
- 11日(水) 半日保育士(2歳児以下⑧)
" ふるまい推進員派遣事業(5歳児)
- 12日(木) 避難訓練(火災)
- 13日(金) <ふれあいデー>とんどさん
" 保育所開放日
- 16日(月) すもう大会(3.4.5歳児) ~20日
" 5歳児個人面談~27日
- 17日(火) 弁当の日
- 20日(金) 集金日
- 23日(月) 4歳児個人面談~30日
- 25日(水) 半日保育士(2歳児以下⑨)
- 26日(木) 誕生会
- 27日(金) 布団持ち帰り



2月の主な行事

- 7日(火) <ふれあいデー>もちつき・お礼の会

ほっとルーム 子どもが育つ「遊び」とは？ 親はどうすればいい？



簡単に言うと、「特別なことをする必要はない」と思った方がよいと思います。基本的には、子どもが喜ぶように返してあげればよいのです。例えば、ぐずっている時に、高くちょっと持ち上げて喜んだら、それでいい。「うー」と子どもが発した言葉に言葉を返して、ケタケタ笑ったらそれでいい。かわいいなあと思ったら優しく触れてあげて、にこにこ笑ったらそれでいい。そんなふう子どもが何か発してきたことに、「こんなことをしてあげたら楽しいかな」と思って返してあげたり、愛情を込めて子どもの身体に触れたり、子どもが一生懸命何か言葉を発しようとしていることに言葉をかけてあげたりすることが大事なのです。

「こんなことだけでいいの?」「それなら、いつもやっていることと同じだよ」と思われるでしょう? そうなんです。皆さんがいつもやっていることなのです。子育てを真剣に考えている人ほど、「正しさ」を求めてしまいがちです。でも「正しさ」は外にあるものではありません。わが子のために頑張っているあなたの中にすでにあるものなのです。

大人は、何か特別な遊びをすることや、特別なおもちゃで遊ぶことが子どもにとって良い経験になっていると思いがちですが、実はそうではありません。上で述べたようなやりとりもすでに遊びであり、大切なことです。



※参考:玉川大学教育学部教授 大豆生田啓友先生
子育てコラム「教えて!ママ先生①」より

日々の何気ない会話やコミュニケーションが子どもにとって親にとっても大切な時間であり、その積み重ねが大切なことだと思います。肩の力を抜いて愛情を注いであげてくださいね。

職員出張のお知らせ ※印は午後の研修

- 16日~ キャリアアップ研修(Web) ~土江、佐々木 神田
- 20日 ※保育者研修会 ~古安
- 27日 平中校区拡大総務部会 ~錦織

職員について

1月から渡部夏帆保育士はりす組の担任をします。よろしくお願いいたします。